

＜ヒストリーいばらき＞高萩出身の地理学者、社会科地図帳に掲載 「赤水図」中学生に誇り 郷土に思いはせ授業

2021年04月16日 07時21分



「赤水図」を社会科の授業で学ぶ生徒ら＝高萩市で

現在の高萩市出身で、江戸時代の地理学者・長久保赤水（せきすい）（1717～1801年）が作った精密な日本地図「赤水図」が本年度、中学校の社会科の授業で使う地図帳（帝国書院）に掲載された。市教育委員会によると、社会科の検定教科書に赤水図が取り上げられるのは初めて。市内の中学校では早速、地図帳を使った授業が始まり、生徒らは郷土の偉人の功績に思いをはせていた。（保坂千裕）